

## 針對在資料庫 BCCWJ 中的「～wo 動名詞 (VN) desu」形式裡的動名詞種類以及此形式在意思上與機能上進行探討

張菱侑

東吳大學日文所博士班

### 摘 要

本篇論文是對於日文學習者不太熟悉的日語形式，如：「masion wo 購入 desu(購買高級公寓)」這樣的日文句子中的動名詞(「購入」)的種類，與此形式在意思上及機能上進行探討。研究結果顯示這種動名詞在分類語彙表中，最常出現在「体」這類當中的兩個部門，分別是「抽象的關係」「人類活動—精神和行為」。再者，此形式上的動詞型態(aspect)有「動作」、「動作的繼續」、「結果的狀態」、「(未來)完成」、「効力的持續」等用法；若以時式(tense)來看，則依序為「ta 形・ru 形」、「teiru 形」、「teiru 形」、「teiru 形(+推測語氣 darou)」、「ta 形・teiru 形」。另外，由各例句上下文內容且藉用此日語形式可以表達「勸誘」或「依賴」、「義務」、「判斷」等說話者的語氣(modality)。因此，在部落格(blog)或日文網站的「YAHOO!知惠袋」(chiebukuro)常見此日語形式。是因為避免使用冗長的句子，而使用能精簡說明且具有給予讀者印象深刻的此日語形式「～wo 動名詞 (VN) desu」。最後，從此次研究結果來看，此日語形式的機能可說是「他動詞機能」的延伸。

**關鍵詞：**動名詞 分類語彙表 動詞型態(aspect)

說話者的語氣(modality) 「他動詞機能」的延伸

# BCCWJ<sup>1</sup>での「～を動名詞<sup>2</sup>(VN)+です」構文における動名詞の種類及びその構文の意味分析・機能について

張菱侑

東呉大学大学院日本語学科(博士後期課程)

## 要 旨

本研究では、日本語学習者に馴染みがあまりない「マンションを購入です」のような構文に当たる動名詞の種類及びこの構文のAspect・Modality・機能を考察対象とする。考察結果を述べると、「～を VN+です」構文に適する動名詞の種類は分類語彙表において「1.3 人間活動－精神および行為」の部門及び「1.1 抽象的關係」の部門からの動名詞が著しく多いと言える。また、この構文のAspectは「動き」、「動作の継続」、「結果状態」、「(未来の)完了」、「効力持続」という用法が BCCWJ に見られた。テンスから分析すると、「タ形・ル形」、「テイル形」、「テイル形」、「テイル形(ダロウ)」、「タ形・テイル形」の順番に多いことが分かった。更には、前後の文脈により、この構文をもって「勧誘表現」や「依頼表現」、「義務・判断を表す表現」というModalityを表せる。そのため、ブログや「YAHOO!知恵袋」においては、Modalityのような冗長な表現が使われずに、簡潔に説明でき、同時に読み手にインパクトを与える働きがある「～を VN+です」構文が頻繁に使用されていると考えられる。最後に、今回の考察結果に基づき、この構文は他動詞の派生的な用法であると言える。

キーワード：動名詞   Aspect   Modality   分類語彙表  
他動詞の派生的な用法

---

<sup>1</sup> 「現代日本語書き言葉均衡コーパス」のことを指す。

<sup>2</sup> ここでの動名詞(Verbal Noun)とはサ変動詞になり得る名詞というものである。(以下、「～を VN+です」と略称する)

# **Discovery for Types of Verbal Noun in the Sentence Pattern “~ wo VN desu” and Its Meanings and Functions in the Database BCCWJ**

Ling Yu Chang

PhD student, Graduate Institute of Japanese Language and Culture,  
Soochow University

## **Abstract**

The sentence pattern “mansyon wo kounyuu desu” was somewhat strange to the beginners of learning Japanese. Therefore, the thesis focused on such verbal nouns like the example “kounyuu ” and the sentence pattern including its meanings and functions.

Research had shown this type of verbal nouns was mostly seen in the two divisions “Relation” and “Human action – spirit and behavior” under the “Body” class. The verbal aspects of this pattern included “Simple Tense”, “Progressive Tense”, “State Survival”, “(Future) Prefect Tense”, “Maintaining of Potency”, which corresponded to the tenses “Ta-kei • Ru-kei”, “Teiru-kei”, “Teiru-kei”, “Teiru-kei (Darou)”, “Ta-kei • Teiru-kei” separately. In addition, according to the contexts of example sentences, the pattern could also express the meanings like “Canvass” , “Commission”, “Obligation”, “Judgementt” based on the mood of speaker (=Modality). The pattern “~ wo VN desu” was frequently used in blogs and the website “chiebukuro” not only to avoid lengthy sentences but also to make the point to impress the readers. Finally, this pattern can be considered as a derived usage of transitive verbs based on this study.

**Keywords:** Verbal Noun, Word List by Semantic Principles (WLSP),  
Verbal Aspect, Modality, Derived Usage of Transitive Verbs

# BCCWJ での「～を動名詞(VN)+です」構文における動名詞の種類及びその構文の意味分析・機能について

張菱侑

東呉大学大学院日本語学科(博士後期課程)

## 1. はじめに

しばしば「マンションを購入です」や「落札日をゲットです」のような日本語の表現が目に入ってくる。また、その構文「～を VN+です」における動名詞の直前に来る「を」格のほかに、「が」格や「に」格も見られる<sup>3</sup>。そこで、BCCWJ を使って、その構文の「VN」に先行できる格助詞及びその用例数を次の表 1 に示す。

表 1 BCCWJ における「VN」に先行できる格助詞及びその用例数

NO.	格助詞	構文	用例数 <sup>4</sup>
1	の	「～の VN です」	8249
2	に	「～に VN です」	1818
3	が	「～が VN です」	922
4	で	「～で VN です」	783
5	と	「～と VN です」	288
6	から	「～から VN です」	182
7	を	「～を VN です」	117
8	へ	「～へ VN です」	78
9	より	「～より VN です」	19

<sup>3</sup> 「日本フィギュア界のエースが復活です。」の例文も、「(スズメバチ駆除の作業について)その現場に密着です。」の例文も、鈴木(2010)からの引用例である。

<sup>4</sup> 3.1 章で検索方法を詳しく述べるが、BCCWJ で検索する際に「キー」のところで【品詞】の【小分類】の【名詞 - 普通名詞 - サ変形状詞可能】を選択する場合もある。他動性が低いいため、形状詞(即ち、「な形容詞」)の場合を排除することにした。

佐藤(2011)は「「を VN だ」構文がインターネットにおいてどのぐらいの頻度で出現するかを、Google 検索で確認した(p. 55)」と説明している。しかし、どのような動名詞が上述の構文に適するかについては触れていないことから、日本語学習者にとって容易なことではないと考えられる。それはその構文やその構文における動名詞の種類に馴染みがあまりないためである。

また、北條(1973)や小林(2004)のように動名詞を取り上げるものは多いが、動詞の敬語形「お/ご～だ」を扱った丹羽(2008)を除いて、佐藤(2011, 2012)や鈴木(2010, 2011, 2012)のように、「VN+{だ/です}」構文を研究対象とした研究はそれほど多くない。更に、他動詞の機能という観点から「～を VN+です」構文を研究する論文は少ない。そのため、本稿では「を」格に着目し、表 1 のうち、用例数が三番目として少なく、形態から他動性が最も高い<sup>5</sup>と見なされた構文「～を VN+です」を中心に考察する。そこで、本稿では以下のことを研究目的とする。

- A. BCCWJ においては、どのような動名詞が「～を VN+です」構文に適切であるかを明らかにする。
- B. BCCWJ での「～を VN+です」構文の用例のアスペクトを究明する。
- C. BCCWJ における「～を VN+です」構文の用例とモダリティとの関連も考察する。
- D. 「～を VN です」構文は他動詞の機能を持つかどうか、また、その構文における「を」格は「目的格」を表すかについても考察する。

上述したように、この四つが本稿の目的である。そこで、本稿の構成は第 2 章では先行研究について述べるが、第 3 章では、BCCWJ における「～を VN+です」構文に出現したすべての動名詞を通して、

---

<sup>5</sup> 「主語が目的語に与える影響力」が大きい場合に他動性が高いという意味を指す。

『分類語彙表』の分類方法により、「～を VN+です」構文での動名詞の分布を考察する。その動名詞の分布を利用して、「～を VN+です」構造に適する動名詞の種類を見出してみる。また、第 4 章では、BCCWJ における「～を VN+です」構文の用例のアスペクトを明らかにしたい。更に、第 5 章においては、BCCWJ での「～を VN+です」構文の用例とモダリティとの関連も考察する。最後に、その構文は他動詞の機能を持つかどうか、また、その構文での「を」格は「目的格」を表すかについても述べる。

## 2. 先行研究

### 2.1 佐藤(2011)

佐藤(2011)は、「「を VN だ」構文<sup>6</sup>がインターネットにおいてどのぐらいの頻度で出現するかを、Google 検索で確認した(p. 55)」と説明している。また、佐藤氏は検索する際に動名詞を選ぶために、相澤(1993)からの 1080 項目<sup>7</sup>を利用した。更に、佐藤氏は相澤(1993)からの 1080 項目のうち、次の条件(佐藤 2011 : 58)に該当する動名詞を取り出した。

a. 6 つの辞典(『大辞林』『学研国語大辞典(第 2 版)』『新明解国語辞典(第 4 版)』『三省堂国語辞典(第 4 版)』『岩波国語辞典(第 4 版)』『例解国語辞典(第 3 版)』全てがサ変動詞として扱っているもの

b. 相澤(1993)が動名詞に軽動詞「する」が接続した場合にヲ格を取ると認めたもの

---

<sup>6</sup> 佐藤(2011)では、「を VN だ」構文とは、「日本語のコピュラ「だ」の軽動詞としての用法を取り上げ、それが動名詞(Verbal Noun, VN)と複合述語を形成し、動詞格のついた項とともに生起する構文である(p. 55)」と解釈されている。

<sup>7</sup> 相澤(1993)は『日本語教育のための基本語彙調査』(国立国語研究所 1984)において選定された 6880 項目(6060 語)(基本語六千)から、二字漢字、外来語、和語に「する」が接続した「複合サ変動詞」1080 項目を選出した(p. 282)」と説明している。

c. 自他同形の動名詞を対象外とする

a, b, c に該当する動名詞は全部で 472 項目であった。そこから、「軽動詞「する」と結合した場合に、他動詞を派生させる動名詞、472 項目を選び出し、そのうち、どの動名詞が実際に「を VN だ」構文として現れるか検証した(p. 55)」ともしている。その結果は、次の表 2(佐藤 2011 : 60)で示す。

表 2 「を VN だ」「を VN か」「を VN 中」の出現頻度(佐藤 2011 : 60)

構文タイプ	を VN だ	を VN か	を VN 中
頻度(項目)	125	190	263
%	26.5%	40.3%	55.7%

表 2 は「を VN だ」「を VN か」「を VN 中」の出現頻度を示している。表 2 から 472 項目の動名詞のうち、「を VN だ」構文として現れた動名詞は 125 項目(26.5%)であり、「を VN か」構文として現れた動名詞は 190 項目(40.3%)であり、「を VN 中」構文として現れた 263 項目(55.7%)であることが分かった。また、これは一つの動名詞が一つの構文だけ出現することではない。言い換えれば、それぞれの構文において重なって出現することが可能であるということである。そこで、表 1 の頻度(項目)の合計は 472(全ての動名詞の数)ではなくて、578 となった。<sup>8</sup>。更に、佐藤(2011)は、「実に全体 472 項目のうち、4 分の 1 以上である 26.5%が「を VN だ」構文で現れたことから、この構文がそれほど希少な構文であるというわけではない

<sup>8</sup> 以下は「を VN だ」/「を VN か」の場合を表 3(佐藤 2011 : 60)に示す。

表 3 「を VN だ」/「を VN か」の出現数

構文タイプ	「を VN だ」& 「を VN か」	「を VN だ」 のみ	「を VN か」 のみ	合計
頻度	79	46	111	236

表 3 から 79 語の動名詞は「を VN だ」構文も「を VN か」構文も出現したことが分かった。

ことがわかる」という結論を出している。また、「を VN 中」構文は過半数の場合(55.7%)出現することが読み取れる。そのため、「を VN 中」構文は「を VN だ」構文より広く認められていると言える。

## 2.2 佐藤(2012)

佐藤(2012)は佐藤(2011)の再調査である。但し、調査方法は佐藤(2011)とは異なっている。佐藤(2012)は「Google 検索の際に、検索オプションを操作して「語順も含め完全一致」するテキストを選択し、はじめの 20 件に該当形式が見つけられた場合は使用されていると見なし、はじめの 20 件に該当形式が見つけられない場合は、使用されていないと見なした(p.35)」という異なった調査方法について説明している。研究結果は次の表 4 である。

表 4 「を VN だ」「を VN 中」が初めの 20 件中出现した動名詞の語数(佐藤 2012 : 43)

検索形式	語数
「を VN だ」	392 (83.7%)
「を VN 中」	408 (87.2%)
全体	468 (100%)

表 4 を見ると、468 語の動名詞のうち、392 語(83.7%)が「を VN だ」構文として現れ、408 語(87.2%)が「を VN 中」構文として現れたことが判明した。結論として、佐藤(2012)は「どちらも 8 割を超える動名詞に使われていることが確認されたことから、「を VN だ」という形式がその使用において決して特殊で希有な用法ではないことを示した(p.35)」と説明している。

佐藤(2011)も佐藤(2012)も、「を VN だ」や「を VN 中」などの構文における動名詞の出現頻度を調べているが、どのような動名詞が上述の構文「～を VN+{だ/中}」によく出現されているかについて



は、言及されていない。

### 2.3 小林 (2004)

小林(2004)は自他両用の二字漢語動名詞の意味体系における分布について説明しているが、国立国語研究所の『分類語彙表』を使って、自他両用の二字漢語動名詞の分類及び分布を調べている。その結果は次のようになる(pp. 73-74)。

1.1 抽象的關係	206 語	83.4%
1.3 人間活動－精神および行為	19 語	7.7%
1.4 生産物および用具	1 語	0.4%
1.5 自然物および自然現象	21 語	8.5%
総計	247 語	100%

上記のことから分かるように、自他両用の二字漢語動名詞の分布は「1.1 抽象的關係」に属するものが多いということが明らかとなった。(語数が多い分類項目を挙げると、「増加」(1.1580)、「開始・終了」(1.1505)、「出現」(1.1210)、「破壊」(1.1572)、「伸縮」(1.1582)という項目である。)

また、自他両用の二字漢語動名詞と対照するために、小林氏は北條(1973)からの他動詞の用法しか持たない二字漢語動名詞を使い、自他両用の二字漢語動名詞と同じように分類した。下記はその結果である。

1.1 抽象的關係	327 語	15.8%
1.2 人間活動の主体	9 語	0.4%
1.3 人間活動－精神および行為	1693 語	81.9%
1.4 生産物および用具	3 語	0.1%
1.5 自然物および自然現象	30 語	1.5%
3. 相の類	4 語	0.2%

自他両用の二字漢語動名詞の分布と違い、他動詞の用法しか持たない二字漢語動名詞は「1.3 人間活動－精神および行為」に属するものが多く、「1.1 抽象的關係」に属するものが少ないという結果を指摘している。このように考えるのであれば、本稿の研究対象である「～を VN+です」構文における動名詞はどのように分布しているか興味深い。

#### 2.4 丹羽(2008)

丹羽(2008)は動詞の敬語形「お/ご+動作動詞(連用形・語幹)だ」(引用例:「何をお探しですか」)については、「「オ V ダ」は、動詞の敬語形であるが、「～ダ」という形を取るため、動詞述語的性格と名詞述語的(状態性述語的)性格の両面を合わせ持つ(p. 68)」と指摘している。また、敬語形の「お/ご+動作動詞(連用形・語幹)だ」(オ V ダ形)のアスペクトについては、下の表は丹羽(2008: 73)から引用して簡略化したものである。もともとの表に「オ V ダッタ形」の情報も入っているが、今回の研究対象「～を VN です」と対照する形式は、「オ V ダッタ形」ではなく、「オ V ダ形」となるわけである。

表 5 動詞のオ V ダ形のアスペクト<sup>9</sup>(丹羽 2008: 73)

オ V ダ形			
動き+効力	直前の動き	現在の状態	(未来の完了)
		(現在の動き) <sup>10</sup>	(未来の状態) 未来の動き

<sup>9</sup> 丹羽(2008)は「「動き」は「動作」と「変化」をまとめたもの、「状態」は「動作の継続」と「変化の結果状態」をまとめたものである(p. 73)」と説明している。

<sup>10</sup> 丸括弧の付いている用法が丸括弧の付いていない用法に比べて用いられる度が低いことを示す(丹羽 2008: 73)。

上の表に記載した「動き+効力」を説明すると、丹羽氏には次のような解釈がある。「「動き+効力」とあるのは「設定時点以前の動き+設定時点における効力」で、設定時点が現在である。この「動き+効力」と「直前の動き」を合わせたものが「現在の完了」である(p. 73)」という説明内容である。次に、紙幅の制限で表 5 の「オ V ダ形」の主な用法は丹羽(2008)からの引用例である。

例 1 : (「動き+効力」の用法) 山田先生は昨日もご講演です<sup>11</sup>。

例 2 : (「直前の動き」の用法) あ、ご到着だ。

例 3 : (「現在の状態」の用法) 山田さんはご欠席です。

例 4 : (「未来の動き」の用法) いつご発表ですか。

「オ V ダ形」の主な用法は「動き+効力」の用法(例 1)、「直前の動き」の用法(例 2)、「現在の状態」の用法(例 3)、「未来の動き」の用法(例 4)であり、順番に「ご講演になりました/ご講演になっています」(例 1)、「ご到着になった」(例 2)、「ご欠席になっています」(例 3)、「ご発表になりますか」(例 4)を意味している。

前述したように、丹羽(2008)の「お/ご+動作動詞(連用形・語幹)だ」は敬語形であるが、その動詞述語的性格と名詞述語的(状態性述語的)性格の両面を合わせ持つという性格は本稿で扱う「～を VN+です」構文にも見られるだろうと考えている。また、BCCWJにおけるその構文のアスペクト・モダリティ・機能も考察したい。

### 3. BCCWJにおける「～を VN+です」構文に適する動名詞の種類

前述したように、「BCCWJ」での「～を VN+です」構文に出現した

---

<sup>11</sup> 例 1 に関する意味解釈については、丹羽(2008)は次のように説明している。それは例 1 のように過去に動きが実現してその効力(経験・記録などの間接的な結果: 工藤一九九五: 121-122)が現在に残ることを表す場合がある(p. 70)という解釈である。

すべての動名詞の分布」を通して、目的 1 である「～を VN+です」構造に適する動名詞の種類を明らかにしたい。下記したように、順番に「BCCWJ での検索方法について」(3.1 章)、『分類語彙表』で調べた BCCWJ における「～を VN+です」構文でのすべての動名詞の分布」(3.2 章)、「BCCWJ における「～を VN+です」構文に適切な動名詞の種類」(3.3 章)を述べていく。

### 3.1 BCCWJ での検索方法について

前述の通り、どんな動名詞が上述の構文「を VN+です」によく出現するかについて、BCCWJ を用いて考察を行うのであるが、検索方法は中納言アプリケーションを使い、「短単位検索」で用例を検索した。つまり、「前方共起」で【語彙素】を選択し、「を」を入力し、「キー」で【品詞】の【小分類】の【名詞 - 普通名詞 - サ変可能】を選択し、「後方共起」で【語彙素】を選択し、「です」を入力した。

すると、全部で 117 の例文が出てきた。しかし、「～を奏上ス」のような古語<sup>12</sup>や、異なった構文「～を VN+でした」や、例文「～をメールでし」<sup>13</sup>のように形態上は似ているが、実際に動名詞が使われていない例文であるため、これらを除いた。また、同じ動名詞が何回も現れた場合、1 回と数えることにした。以上が考察方法である。そうすると、今回使われている例文は 90 例となった。更に、今回の BCCWJ での「～を VN+です」構文に適する動名詞は 50 語あった。次に、『分類語彙表』でこの 50 語の動名詞の分布を考察する。

### 3.2 『分類語彙表』で調べた BCCWJ における「～を VN+です」構文でのすべての動名詞の分布

---

<sup>12</sup> BCCWJ における「誠ニ恐懼ニ堪エザル旨ヲ奏上ス。」の例文が出た。

<sup>13</sup> 「入金確認と発送予定の連絡& 発送後に発送の連絡をメールでしています」の例文における「メール」は動名詞ではなく、名詞である。そのため、このような例文を研究対象外にした。

### 3.2.1 分類語彙表の分類についての説明

ここでは、現代語約 8 万語<sup>14</sup>が四つの種類(体の類、用の類、相の類、その他の類)に分けられている『分類語彙表(増補改訂版)』を利用した。同書は「体・用・相」の類の語彙を「抽象的關係」、「人間活動の主体」、「人間活動－精神及び行為」、「生産物および用具」、「自然物および自然現象」の五つの部門に下位分類している。また、各部門にはそれぞれ中項目があり、それぞれの中項目には分類項目もある。下記、紙幅の関係で「体の類」だけを表 6 及び表 7 に示して説明する。

表 6 分類語彙表の分類

類	部門	中項目	分類項目
体の類	抽象的關係	事柄、類、存在、様相、力、作用、時間、空間、形、量	別表： 表 7
	人間活動－精神及び行為	心、言語、芸術、生活、行為、交わり、待遇、経済、事業	

上の表からわかるように、「体」の類の語彙を五つの部門に下位分類しているが、字数の制限のため、「抽象的關係」・「人間活動－精神及び行為」の二部門だけを示している。また、各部門には各々の中項目があるが、「抽象的關係」の部門を例に、「事柄、類、存在、様相、力、作用、時間、空間、形、量」という中項目が見られた。更に、それぞれの中項目には分類項目も設けられており、例を挙げると、中項目「存在」を「存在、出没、発生・復活、成立、保存、消滅、除去」という分類項目に下位分類している(表 7)。

<sup>14</sup> この数字は異なり語数で数えた場合である。(『分類語彙表(増補改訂版)』によると、異なり語数とは、同一の語が何度出現しても 1 回と数えた場合の語数のことである。)

表 7 中項目「存在」の分類項目

中項目：「存在」			
分類項目	分類番号	分類項目	分類番号
存在	1. 1200	保存	1. 1240
出没	1. 1210	消滅	1. 1250
発生・復活	1. 1211	除去	1. 1251
成立	1. 1220		

表 6・表 7 を参考にした場合、分類語彙表の分類の仕方が分かりやすくなると考えているが、次は動名詞「購入」を一つの例として説明してみる。

例：「購入」の場合



「購入」の動名詞の分類番号は「1. 3761」であるが、その番号「1」は「体」の類であり、番号「1. 3」は「人間活動—精神および行為」の部門、「1. 37」は「経済」の中項目、「(1. 37) 61」は分類項目の「売買」を示している。

### 3. 2. 2 BCCWJ における「～を VN+です」構文でのすべての動名詞の分布

前述のように、BCCWJ に出現したすべての動名詞(50 語)を利用して、『分類語彙表』の分類法により、「～を VN+です」構文での全部の動名詞の分布を調べると、その結果は次のようになった。

表 8 『分類語彙表』で調べた BCCWJ での「～を VN+です」におけるすべての動名詞の分布

NO	動名詞	分類番号	NO	動名詞	分類番号
1	購入	1. 3761	26	プッシュ	1. 1562
2	入手	1. 3700	27	ゲット	1. 3700
3	修正	1. 1500	28	右折	1. 1520 1. 1711
4	変更	1. 1500	29	使用	1. 3852
5	返金	1. 3780	30	恐縮	1. 3012 1. 3021 1. 3041
6	抹消	1. 1250	31	レンタル	1. 3780
7	紹介	1. 3522	32	注文	1. 1532 1. 1533
8	否定	1. 3532	33	卒業	1. 1503 1. 3321
9	掲載	1. 3832	34	通過	1. 1524
10	記入	1. 3151	35	UP・アップ	1. 1540 1. 1580
11	撮影	1. 3851	36	交換	1. 1501 1. 3760
12	脱出	1. 1531	37	チェック	1. 1840 1. 3065 1. 3114 1. 4040
13	敢行	1. 3430	38	期待	1. 3042 1. 3066
14	散策	1. 3371	39	廃業	1. 1251 1. 1503 1. 3800
15	出発	1. 1521	40	満喫	1. 3013 1. 3331
16	選択	1. 3063	41	アピール	1. 3660
17	特訓	1. 3050	42	着装	1. 3332 1. 3850
18	追加	1. 1580	43	応援	1. 3650
19	開始	1. 1502	44	左折	1. 1520 1. 1711
20	搭載	1. 1541	45	連呼	1. 3121
21	突破	1. 1526	46	持参	1. 1527 1. 3392 1. 3701
22	確認	1. 3062	47	スクープ	1. 3123 1. 3154 1. 3832
23	解消	1. 1250	48	リレー	1. 1504 1. 3374
24	実現	1. 1210	49	レビュー	1. 3240
25	希望	1. 3042	50	救出	1. 1531 1. 3650

表 8 から見ると、一つの動名詞は二つか三つの中項目にまたがっていることもある。例を挙げると、動名詞の「持参」は三つの中項目「1.15 作用」「1.33 生活」「1.37 経済」にまたがっていることである。また、上の表に示している動名詞の分類番号を『分類語彙表』の構成に入れてみると、次のようになる。

『分類語彙表』の構成 (部門別)	動名詞の語数	比率
1.1 抽象的關係	29 語	40.3%
1.2 人間活動の主体	0 語	0%
1.3 人間活動－精神および行為	42 語	58.3%
1.4 生産物および用具	1 語	1.4%
1.5 自然物および自然現象	0 語	0%
総計	72 語 <sup>15</sup>	100%

『分類語彙表』における「～を VN+です」構造でのすべての動名詞の分布を見ると、「1.3 人間活動－精神および行為」の部門に属するものが最も多く、それに次ぐのは「1.1 抽象的關係」の部門に属するものということが明らかとなった。その考察結果に基づいて説明すると、「～を VN+です」構造を使った動作主において、ある目的で行った動作や行為などは殆ど「1.3 人間活動－精神および行為」の部門のものであると言える。また、その比率が高い部門「1.3 人間活動－精神および行為」の中項目の割合も確認し、表 9 に示している。更に、二番目として多い部門「1.1 抽象的關係」の中項目も調べた結果は、表 10 のようになった。

<sup>15</sup> BCCWJ に出た動名詞は全部で 50 語となったが、ここで合計した語数は 72 語となった。それは一つの動名詞は二つの項目に跨っているからである。例を挙げると、一つの動名詞である「卒業」は、「1.1 抽象的關係」に属すると同時に、「1.3 人間活動－精神および行為」にも属する。



表 9 部門「1.3 人間活動－精神および行為」の中項目に属する動名詞の語数及びその割合について

部門	番号を付けた 中項目	動名詞 の語数	比率	語例(VN)
人間活動－精神及び行為	1.30 心	11	26.2%	恐縮、期待、選択など
	1.31 言語	5	11.9%	記入、チェック、連呼等
	1.32 芸術	1	2.4%	レビュー
	1.33 生活	6	14.3%	卒業、持参、着装など
	1.34 行為	1	2.4%	敢行
	1.35 交わり	2	4.8%	紹介、否定
	1.36 待遇	3	7.1%	アピール、応援、救出
	1.37 経済	7	16.7%	購入、交換、ゲット等
	1.38 事業	6	14.3%	掲載、使用、撮影など
小計	—	42	100.1% <sup>16</sup>	—

前述したように、BCCWJにおける「～をVN+です」構造でのすべての動名詞の分布は「1.3 人間活動－精神および行為」の部門に属するものが一番多かったと述べた。また、表 9 に示しているその部門の九つの中項目の割合から見ると、「1.30 心」に属するものの比率(26.2%)が最も高く、それについて、「1.37 経済」(16.7%)、「1.33 生活」(14.3%)、「1.38 事業」(14.3%)の中項目の割合は約 15%近くを占めているということが読み取れた。更に、比率が一番高い中項目「1.30 心」の分類項目も確認したが、その結果は「恐れ」(1.3012)、「安心」(1.3013)、「敬意」(1.3021)、「自信」(1.3041)、「欲望」(1.3042)、「学習」(1.3050)、「注意」(1.3062)、「比較」(1.3063)、「研究」(1.3065)、「判断」(1.3066)の分類項目に属するものが多かった<sup>17</sup>。一方、比率

<sup>16</sup> ここでは、パーセントを小数第二位で四捨五入したため、小計が 100%に達しなかった。

<sup>17</sup> 小林(2004)は「自他両用の二字漢語動名詞の分布は「増加」(1.1580)、「開始・終了」(1.1505)、「出現」(1.1210)、「破壊」(1.1572)、「伸縮」(1.1582)の項

が二番目として多い「1.1 抽象的關係」の中項目も、調べた結果は表 10 となる。

表 10 部門「1.1 抽象的關係」の中項目に属する動名詞の語数及びその割合について

部門	番号を付けた中項目	動名詞の語数	比率	語例(VN)
1.1 抽象的關係	1.10 事柄	0	0%	—
	1.11 類	0	0%	—
	1.12 存在	4	13.8%	解消、抹消、実現等
	1.13 様相	0	0%	—
	1.14 力	0	0%	—
	1.15 作用	22	75.9%	注文、修正、追加等
	1.16 時間	0	0%	—
	1.17 空間	2	6.9%	右折、左折
	1.18 形	1	3.4%	チェック
	1.19 量	0	0%	—
小計	—	29	100%	—

表 10 から部門「1.1 抽象的關係」の中項目に属する動名詞は「1.15 作用」に属されたものが著しく高いことが分かった。また、その「1.15 作用」の分類項目も調べたが、その結果は「作用・変化」(1.1500)、「終了・中止・停止」(1.1503)、「進行・過程・経由」(1.1520)、「出・出し」(1.1531)、「増減・補充」(1.1580)の項目からの動名詞が多かったということである。

---

目に属するものが多かった(p. 73)」と指摘している。小林氏が述べた自他両用の二字漢語動名詞の分布は本稿での BCCWJ における「～を VN+です」構造でのすべての動名詞の分布と一致しないことが分かった。

### 3.3 BCCWJにおける「～を VN+です」構文に適切な動名詞の種類

前述のように、BCCWJにおける「～を VN+です」構文でのすべての動名詞の分布(3.2章)を通じて、どのような動名詞が「～を VN+です」構文に適切であるかを究明する。

3.2章での考察結果をもって、どのような動名詞が「～を VN+です」構文に適切かを考えてみると、「1.3 人間活動－精神および行為」の部門(特に中項目「1.30 心」、「1.33 生活」、「1.37 経済」、「1.38 事業」)及び「1.1 抽象的關係」の部門(主に「1.15 作用」に集中)からの動名詞がとりわけ多いと言える。また、中項目から下位分類した分類項目を以て、「～を VN+です」構文における動名詞に馴染みがない日本語学習者の理解に役立つのではないかと考えている。そのため、割合が高い中項目「1.30 心」の分類項目及び「1.15 作用」の分類項目を挙げると、中項目「1.30 心」には「恐れ」(1.3012)、「安心」(1.3013)、「敬意」(1.3021)、「自信」(1.3041)、「欲望」(1.3042)、「学習」(1.3050)、「注意」(1.3062)、「比較」(1.3063)、「研究」(1.3065)、「判断」(1.3066)という分類項目があることに對し、中項目「1.15 作用」には「作用・変化」(1.1500)、「終了・中止・停止」(1.1503)、「進行・過程・経由」(1.1520)、「出・出し」(1.1531)、「増減・補充」(1.1580)という分類項目がある。これらの分類項目に属する動名詞は、ほかの項目からの動名詞より、「～を VN+です」構造の方が適切だと考えられる。

### 4. BCCWJにおける「～を VN+です」構文の意味分析(アスペクト)について

目的2である「BCCWJにおける「～を VN+です」構文の意味分析(アスペクト)について」述べる前に、まず、BCCWJでの「～を VN+です」構文の用例のジャンル(4.1章)を確認しておきたい。

#### 4.1 BCCWJ での「～を VN+です」構文の用例のジャンル

上記した BCCWJ からの用例 117 例のうち、研究対象外の例文 (13 例)、古語 (3 例)、異なった構文「～を VN+でした」(5 例)を除き、また、同じ例文が 2 回も現れた場合を 1 例と見なすという考察方法で行うと、今回の BCCWJ でのこの構文の用例は 90 例となった。<sup>18</sup> 以下、その 90 例の用例におけるジャンルを表 11 にまとめた。

表 11 BCCWJ からの「～を VN+です」構文の用例のジャンル

NO.	例文のジャンル <sup>19</sup>	例文数	比率
1	「YAHOO!ブログ」からの例文	66	73.3%
2	「YAHOO!知恵袋」からの例文	17	18.9%
3	「図書館・書籍」からの例文	1	1.1%
4	「出版・書籍」からの例文	3	3.3%
5	「出版・雑誌」からの例文	3	3.3%
小計		90	99.9% <sup>20</sup>

上の表を見ると、BCCWJ においては「～を VN+です」構文の例文は、「YAHOO!ブログ」からのものが最も多く、それに次ぐのは「YAHOO!知恵袋」からの例文ということが読み取れた。この結果をもってなぜ「～を VN+です」構文の最後に来た「です」が使われているか説明できると考えている。それは、「YAHOO!ブログ」にしろ、「YAHOO!知恵袋」にしろ、話し手が読み手や聞き手に敬意を示すために、動名詞の直後に助動詞「です」を加えたからであろうと考えられる。

<sup>18</sup> 第 3 章で述べた BCCWJ でのこの構文に出現した動名詞は 50 語あるが、その用例は 90 例ある。というのは、一つの動名詞が 2 例以上の用例に使われていることがあるからである。同じ動名詞でも、時制や「～を VN+です」での動名詞の意味も違っているため、別々の例として数えられている。

<sup>19</sup> ジャンル別は BCCWJ により、そのままに引用されたものである。

<sup>20</sup> パーセントを小数第二位で四捨五入したため、小計が 100%にならないことがある。

## 4.2 BCCWJにおける「～を VN+です」構文の用例の意味分析(アスペクト)

本稿では「～を VN+です」構文の用例の意味分析を述べていくが、ここではその構文の用例のアスペクトを中心とすることに対し、第5章ではその構文における用例のモダリティに焦点を絞って論じる。まずは例文を用いて確認してみる。

例5：(「過去の動き<sup>21</sup>」の用法)

昨日そのキーボードが届いたので、今日、新しい PC の設定を開始です。OS を VISTA に戻せる様に VISTA のリカバリーCDを作成し、次に XP へのダウングレードです。〈Yahoo! ブログ, BCCWJ〉<sup>22</sup>

例6：(「過去における動作の継続」の用法)

(前略)…、発泡酒飲みながらスカパーで J2 の鳥栖戦を観戦デス<sup>23</sup>。前節は途中から出場したらしい船ピーが今日はスタメン！〈中略〉なんだかんだ言っても、結局はサッカーから離れられない週末みたい。〈Yahoo! ブログ, BCCWJ〉

例7：(「現在の結果状態」の用法)

タイヤはお約束の真円度を誇る、ミシュランのパイロットスポーツ-2 を装着です。(後略)〈Yahoo! ブログ, BCCWJ〉

例8：(「現在における動作の継続(繰り返し)」の用法)

もうすぐ5ヶ月になる息子は、一日の間に起きている時間は5～6時間ですが、寝過ぎでしょうか？(中略)心配ありません。食べるよりも寝るほうが大事です。(我が家では寝る方を優先で

<sup>21</sup> ここでの「動き」は丹羽(2008)の分類法と同じように、「動作」と「変化」をまとめたものであるが、「状態」の場合は丹羽(2008)の分類法と違っている。言い換えれば、「動作の継続」と「変化の結果状態(以下、「結果状態」と略称する)」に分けられている。また、その「動作の継続」を「進行中」と「繰り返し(即ち、習慣)」に分けることにした。

<sup>22</sup> 用例の出所の示し方であるが、後方の文字は BCCWJ からの例文を示し、前方の文字はそのジャンル別を示している。(以下、同様)

<sup>23</sup> 「観戦しました」とも言えるが、ここでは「観戦していました」の言い方に焦点を当てている。

す。(後略)〈Yahoo!知恵袋, BCCWJ〉

例 9 : (「現在における動作の継続 (進行中)」の用法)

富士山はあるが、多くはヒマラヤ山脈やヨーロッパの有名な山で、雪をかぶった姿は壮大だ。「登山用具と食料だけでも十分重いの、大判カメラをすくなくとも一台と三脚を持参ですから大変です」 写真家がそう説明してくれる。〈出版・書籍, BCCWJ〉

例 10 : (「未来の動き」の用法)

あと、半年弱で高校を卒業ですよ……元彼女のMや、期待の新生徒会長とも会えないし…(中略)…寂しい。。新天地で仕事を頑張ろうって思いますけどねえ。〈Yahoo!ブログ, BCCWJ〉

例 11 : (「未来の完了」の用法)

楽天ついに十勝ですか？ついに十勝！勝率も2割を越えました！！明日も勝てば、交流戦での最下位を脱出です<sup>24</sup>。〈Yahoo!知恵袋, BCCWJ〉

例 12 : (「効力持続<sup>25</sup>」の用法)

桜花賞に続き大混戦の皐月賞も3点的中！！会員の皆様おめでとうございました。本年は2月下旬から絶好調で十～二十倍の配当をコンスタントに的中。早くも4ヶ月で年間収支百万円を突破です。(後略)〈Yahoo!ブログ, BCCWJ〉

BCCWJにおける「～をVN+です」構文の用法は、上の例5～例12のように、「過去の動き」の用法(例5)、「過去における動作の継続」の用法(例6)、「現在の結果状態」の用法(例7)、「現在における動作の継続 (繰り返し)」の用法(例8)、「現在における動作の継続 (進行中)」の用法(例9)、「未来の動き」の用法(例10)、「未来の完了」の

<sup>24</sup> 「脱出します」とも「脱出できます」とも言えるが、ここでは「脱出しているでしょう」の言い方に焦点を当てている。

<sup>25</sup> この「効力持続」の用法は、庵(2001:92)の分類法と同じであり、また工藤(1995)の「パーフェクト」の一つの用法を指している。例を挙げると、「この橋は5年前に壊れている」の例文における「ている」は「効力持続」の用法に当たる。

用法(例 11)、「効力持続」の用法(例 12)であり、順番に「開始しました」(例 5)、「観戦していました(/観戦しました)」(例 6)、「装着しています」(例 7)、「優先しています」(例 8)、「持参しています」(例 9)、「卒業します」(例 10)、「脱出しているでしょう(/脱出します/脱出できます)」(例 11)、「突破しました/突破しています」(例 12)を意味している。したがって、今回の「～を VN+です」構文の用例のアスペクトは以下の表 12 になる。

表 12 「～を VN+です」構文の用例のアスペクト

過去の動き	現在の状態	未来の動き	効力持続
過去における動作の継続	現在における動作の継続 (進行中・繰り返し)	未来の完了	

また、表 12 をテンス(「ル形・タ形・テイル形・テイタ形」)にすると、次の表 13 のようになる。

表 13 「～を VN+です」構文のアスペクト及びテンス

アスペクト	テンス	アスペクト	テンス
①過去の動き	タ形	⑤現在における動作の継続(繰り返し)	テイル形
②過去における動作の継続	テイタ形	⑥未来の動き	ル形
③現在の状態	テイル形	⑦未来の完了	テイル形(ダロウ) <sup>26</sup>
④現在における動作の継続(進行中)	テイル形	⑧効力持続	タ形・テイル形

「～を VN+です」構文のアスペクトは「過去の動き」の用法、「過

<sup>26</sup> 未来の完了を表す例文は、推量文にのみ限られていると考えている。

去における動作の継続」の用法、「現在の結果状態」の用法、「現在における動作の継続（繰り返し）」の用法、「現在における動作の継続（進行中）」の用法、「未来の動き」の用法、「未来の完了」の用法、「効力持続」の用法であり、テンスから分析すると、順番に「タ形」、「テイタ形」、「テイル形」、「テイル形」、「テイル形」、「ル形」、「テイル形(ダロウ)」、「タ形・テイル形」となることが分かった。

## 5. BCCWJにおける「～を VN+です」構文の用例とモダリティとの関連について

BCCWJにおける「～を VN+です」構文の用例を考察している際に、モダリティとの関連があるかどうかについて、次の例文で確認してみる。

例 13：（「依頼表現(指示)・勧誘表現」の用法）

パソコンに CD-ROM を入れたのですがデータを読み込んでくれず、何も始まりません。どうしてでしょうか？（中略）一度、ケーブル類の再接続をしてみてください。それでも、無反応だったら、CD-ROM ドライブを交換ですね。〈Yahoo! 知恵袋, BCCWJ〉

例 14：（「依頼表現(指示)」の用法）

回答のときの参考のアドレスって、いちいちアドレスをメモしてうっていかないといけないんですか？…（中略）…回答ページに戻って参考欄でもう一回右クリックして”貼り付け”を選択です。アドレスバーが出ていない時は、画面の上のグレーの部分で右クリックして”アドレスバー”の文字の上で左クリックしてください。〈Yahoo! 知恵袋, BCCWJ〉

例 15：（「依頼表現(勧め)・勧誘表現」の用法）

（前略）。会話の機会をもち、あわよくばふたりきりの食事の時間も欲しいところです。そうして回を重ね、好機とみたら告白。彼の思いを確認です。コミュニケーションしないところに、恋愛の



育つ余地などありません。がんばって。〈Yahoo!知恵袋, BCCWJ〉

例 16: (「義務・判断を表す表現(モダリティ)」の用法)

眠い目をこすりながら着いたところは、本州最北端は青森県。  
ぬわんと～！ 東日本フェリーが消滅してるじゃありません  
くわ～(@@;) 聞けばこの不況でフェリー業務を廃業ですと  
ー。なんだかな～函館へは道南自動車フェリーと言う会社を使  
って渡道です。〈Yahoo!ブログ, BCCWJ〉

例 13-16 の前後の文脈から考えてみると、「～を VN+です」構文は順番に「交換してください/交換しましょう」(例 13)、「選択してください」(例 14)、「確認してください/確認しましょう」(例 15)、「廃業しなければなりません/廃業することです」(例 16)と置き換えられると考えている。そのため、前後の文脈により「～を VN+です」構文を用いると、「依頼表現(指示)・勧誘表現」(例 13)、「依頼表現(指示)」(例 14)、「依頼表現(勧め)・勧誘表現」(例 15)、「義務・判断を表す表現(モダリティ)」(例 16)というモダリティを表せるということが分かった。この考察結果に基づき、二つのことが言える。一つは「～を VN です」構文は他動詞の機能を持つと言える。言い換えれば、その構文を使った動作主が、ある目的で行う動作や行為においては「依頼表現」、「勧誘表現」、「義務・判断を表す表現」というモダリティがあると言える。もう一つはこれによってこの構文がブログや「YAHOO!知恵袋」においてよく使われている理由も推測できる。それはこの構文「～を VN+です」をもって、モダリティのような冗長な表現ではなく、簡潔に説明できると同時に読み手にインパクトに与えるという働きがあるからであると考えられる。

## 6. 「～を VN+です」構文の機能

上述したように、「～を VN です」構文は他動詞の機能を持つかどうか、また、その構文における「を」格は「目的格」を表すかについても考察する。まず、例文を確認してみる。(紙幅の関係で以下の

5 例だけ挙げる。)

例 17: 昨日そのキーボードが届いたので、今日、新しい PC の設定を開始です。(=例 5 再掲)

例 18: それでも、無反応だったら、CD-ROM ドライブを交換ですね。(=例 13 再掲)

例 19: 今日見たら 5 件増えていたんですが落札する前一番新しい方(評価をした)は 5 件も落札していないんですがなぜなのでしょう? (中略)。どなたか知ってる方いたら教えてください。ちなみに悪い評価はひとつもありませんでした。落札日をチェックです。〈Yahoo! 知恵袋, BCCWJ〉

例 20: (前略)。そうして回を重ね、好機とみたら告白。彼の思いを確認です。(=例 15 再掲)

例 21: マッセナで白ワインを飲んでましたが、あっという間になくなって、途中からは日本酒。ツマミに明太子を追加です。〈Yahoo! ブログ, BCCWJ〉

それぞれの用例の文脈から、例 17「新しい PC の設定を開始しました」や例 19「落札日をチェックしました」、例 21「明太子を追加しました」と解釈できるため、「～を VN です」構文は他動詞の機能を持ち、またその構文での「を」格は「目的格」を表すことが分かった。しかし、以下のような用例も現れた。(字数の制限で以下の 4 例だけ挙げる<sup>27)</sup>)

例 22: 帝釈天の横の道を江戸川の土手に向かって歩きます。「川甚」のところを右折です。暫く歩くと山本亭の門が見えてきました。〈Yahoo! ブログ, BCCWJ〉

例 23: 十二: 四十分頃に香椎～千早を通過です(^O^)/むちゃくちゃ遅れてました。〈Yahoo! ブログ, BCCWJ〉

---

<sup>27</sup> 目的語を表す「を」格ではない動名詞は、今回 6 語(右折、通過、左折、散策、出発、卒業)見られた。しかし、前掲した例 10「(高校を)卒業です」においては「卒業(する)」ことは「高校」は場所や離脱点の意味ではなく、「数年間の高校の教育課程を修める」という意味であるため、除外することにした。

例 24：ゆっくり朝食をとり、後は伊勢佐木モールを散策です。このモールの中には名古屋の百貨店松坂屋やスーパーのユニーも出店しています。〈Yahoo!ブログ, BCCWJ〉

例 25：今朝は 9:00 に旅館を出発です。朝日に輝く阿蘇はとても綺麗でした！！〈Yahoo!ブログ, BCCWJ〉

上の用例での動名詞は「右折、通過、散策、出発」であることから、「～を VN+です」構文の機能は他動詞の用法だけではなく、自動詞の用法(即ち、移動動詞の用法)もあることが分かった。また、移動動詞の機能が働いている「～を VN+です」構文における「を」格の場合、目的格を表すものではないことも読み取れた。しかし、今回 BCCWJ に出た動名詞 50 語のうち、移動動詞の用法を持つ動名詞は僅か 5 語しか確認されなかったため、「～を VN+です」構文は主に他動詞の用法を持つと考えられる。更に、第 5 章において前後の文脈によりモダリティが表せる「～を VN です」構文は他動詞の機能を持つという考察結果と第 6 章の考察結果とに基づき、この構文の機能は典型的な他動詞の用法ではなく、派生的な用法であると言える。

## 7. おわりに

本稿は「～を VN+です」構文における動名詞の種類も、その構文の意味分析(アスペクト及びモダリティ)・機能も考察を行った。

第 3 章では BCCWJ での「～を VN+です」構文に適する動名詞の種類は分類語彙表において「1.3 人間活動－精神および行為」の部門(特に中項目「1.30 心」、「1.33 生活」、「1.37 経済」、「1.38 事業」)及び「1.1 抽象的關係」の部門(主に「1.15 作用」に集中)からの動名詞が著しく多いと言える。その考察結果により、「～を VN+です」構造を使った動作主が、ある目的で行う動作や行為は殆ど「1.3 人間活動－精神および行為」の部門のものとも言える。また、中項目から下位分類した分類項目を以て、「～を VN+です」構文におけ

る動名詞に馴染みがあまりない日本語学習者の学習に役立つと考えている。そのため、最も割合が高い中項目「1.30 心」の分類項目を挙げると、中項目「1.30 心」には「安心」(1.3013)や「敬意」(1.3021)や「自信」(1.3041)などの分類項目がある。

また、第4章においてはこの構文の意味分析（アスペクト）について述べるが、「過去の動き」、「過去における動作の継続」、「現在の結果状態」、「現在における動作の継続（繰り返し）」、「現在における動作の継続（進行中）」、「未来の動き」、「未来の完了」、「効力持続」という用法が BCCWJ に見られている。テンスから分析すると、順番に「タ形」、「テイタ形」、「テイル形」、「テイル形」、「テイル形」、「ル形」、「テイル形(ダロウ)」、「タ形・テイル形」となることが分かった。

一方、第5章ではこの構文とモダリティとの関連を論じたが、考察結果から述べる、前後の文脈により「～を VN+です」構文を使って、「勧誘表現」「依頼表現(指示)」、「依頼表現(勧め)」、「義務・判断を表す表現(モダリティ)」というモダリティを表せるということが分かった。この考察結果に基づき、二つのことが言える。一つは「～を VN です」構文は他動詞の機能を持つと言える。言い換えれば、その構文を使った動作主が、ある目的で行う動作や行為においては「依頼表現」、「勧誘表現」、「義務・判断を表す表現」というモダリティがあると言える。もう一つはこれによってブログや「YAHOO!知恵袋」においては、モダリティのような冗長な表現を使わずに、簡潔に説明でき同時に読み手にインパクトに与えるという働きがある「～を VN+です」構文を頻繁に使用しているという理由も推測できる。

更に、第6章では「～を VN+です」構文は他動詞の機能も自動詞の用法(即ち、移動動詞の用法)も持つことが分かった。また、移動動詞の機能を持つ「～を VN+です」構文における「を」格の際には、目的格を表すものではないということも分かった。しかし、今回の BCCWJ に産出された動名詞 50 語のうち、移動動詞の用法を持つ動

名詞は僅か 5 語だけであるため、「～を VN+です」構文は主に他動詞の用法を持つと考えられる。要するに、第 5 章において前後の文脈によりモダリティが表せる「～を VN です」構文は他動詞の機能を持つという考察結果と第 6 章の考察結果とに基づき、この構文の機能は典型的な他動詞の用法ではなく、他動詞の派生的な用法であると言える。

最後に、本稿では BCCWJ での「～を VN+です」構文に重点を置いたが、より多くの動名詞を考察し更に深く分析する必要がある。また、「～を VN+でした」の形式や「～を VN 中+です」形式も今後の課題としたい。

## 参考文献

- 相澤正夫(1993)「『日本語教育のための基本語彙調査』と複合サ変動詞」『研究報告集』14, pp. 281-332, 国立国語研究所
- 庵功雄(2001)「テイル形、テイタ形の意味の捉え方に関する一試案」『一橋大学留学生センター紀要』4, pp. 75-94, 一橋大学留学生センター
- 王淑琴(2016)「漢語の自他両用動詞の構文的タイプ」『台湾日語教育學報』27, pp. 135-164
- 大島 デイヴィッド義和, 林 みどり(2021)「日本語の動詞的名詞(サ変名詞)の文法的位置づけ：専用型と兼務型」『国立国語研究所論集』20, pp. 57-77, 国立国語研究所
- 影山太郎(1993)『文法と語形成』ひつじ書房
- 北條 (1973)「サ変になり得る名詞(漢語)」鈴木一彦・林巨樹(編)『品詞別日本文法講座 10 品詞論の周辺』, pp. 185-230, 明治書院
- 久保田一充(2018)「出来事の発生を表す名詞述語文」『愛知淑徳大学論集—文学部—』43, pp. 129-148, 愛知淑徳大学
- 小林英樹(2004)『現代日本語の漢語動名詞の研究』ひつじ書房
- 国立国語研究所 編(2004)『分類語彙表(増補改訂版)』大日本図書

株式会社

佐藤豊(2011)「「を VN だ」構文の出現頻度について」『ICU 日本語教育研究』7, pp. 55-64, 『ICU 日本語教育研究』編集委員会 編, 三鷹 : 国際基督教大学日本語教育研究センター(出版)

佐藤豊(2012)「「を VN だ」構文の出現頻度 : Google 検索による再調査」『ICU 日本語教育研究』8, pp. 35-48 『ICU 日本語教育研究』編集委員会 編, 三鷹 : 国際基督教大学日本語教育研究センター(出版)

鈴木智美(2010)「ニュース報道における「{動名詞(VN)/名詞(N)}+です」文について—「現地を緊急取材です」「老舗料亭に問題発覚です」—」『留学生日本語教育センター論集』36, pp. 57-70, 東京外国語大学

鈴木智美(2011)「ブログ等に見られる「{動名詞(VN)/感動詞相当句}+です」文について—「～に感謝です」「～をよろしくです」の意味・機能—」『留学生日本語教育センター論集』37, pp. 15-28, 東京外国語大学

鈴木智美(2012)「ニュース報道およびブログ等に見られる「～です」文の意味・機能—「～を徹底取材です」「～に期待です」「～をよろしくです」—」『東京外国語大学論集』84, pp. 341-357, 東京外国語大学

田中伊式(2012)「ニュース報道における「名詞+です」表現について—「イチロー選手が電撃移籍です」「尖閣諸島で新たな動きです」—」『放送研究と調査』62(10), pp. 16-29, NHK 放送文化研究所

丹羽哲也(2008)「動詞の敬語形「お/ご～だ」のテンス・アスペクト」『文学史研究』48, pp. 67-76, 文学史研究

## 謝辞

本稿執筆にあたっては、王世和先生に様々な角度から多くの示唆を与えて頂きました。また、査読委員の先生方には数々の貴重なご助言を賜りました。心より感謝申し上げます。